

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和7年3月7日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	運動できるスペースや、クールダウンや静養ができる部屋がある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	専門職（保育士）を配置している。また、配置基準意外にも、加配や欠如対応の職員も配置している。	児童対応の配置は適切であるが、事務作業も重なると不足を感じる時もある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	年齢に応じて踏み台や補助便座を使用している。手順ややり方を分かりやすく写真や絵で掲示している。	玄関外が階段になっている。また、ワンフロアのため、活動内容によっては仕切りの必要性を感じる。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	環境の維持や改善をチェックする5S委員会が毎月各教室を巡回し、点検している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	クールダウンや静養ができる部屋がある。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	会議や面談、グループワーク研修等であがった職員の意見を業務改善に活かしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5		今年度は沖縄県の監査が実施されなかったため、外部評価の機会はなかった。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	毎月の勉強会や研究発表会を通して資質向上に努めている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2	放課後等デイサービス専用電子ソフト（HUG）のツールを活用したり、職員間でのアセスメント会議を行っている。	日々の行動観察記録（ケア記録）では、記入者によって視点が異なる場合がある。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1		立案する職員に偏りがある。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1		活動プログラムに必要な教材の準備や、下調べの時間を十分に確保できない日がある。、

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1		職員によって退勤時間が異なるので、支援の振り返りは翌日に行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	保育園や学校を訪問、参観し、児童の成長や課題を共有している。	主治医と直接の連携までは行っていない。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	0	5		児童発達支援センターに通っている保護者との情報共有はあるが、直接的な連携には至っていない。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	1	公園活動で地域の子どもと関わる機会がある。他教室との合同イベントで、子ども獅子舞会との文化交流がある。	地域との交流はあるが、利用者自身が皆保育所等に通っていることもあり、保育所等の活動時間内で交流する機会がない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4		保護者会の開催はあるが、ペアレント・トレーニングの内容は含んでいない。今後は家族が参加できる研修等の情報を提供していく。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	家庭訪問や事業所での面談、または保護者記入のアセスメントシートを活用し、児童や保護者の意向を確認している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	2	保護者会を開催し、保護者同士交流する場を設けている。	きょうだい同士の交流までには至っていない。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	意見や申し入れがあった時には、根本原因やアクションプランを明確にし、フォーマットを活用しながら対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	Facebookや月間のお便りを通して活動を周知している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3	ハロウィンイベント等を通して地域の商店街に参加して頂き、交流を図っている。学生ボランティアや実習生を受け入れている。	事業所内への招待イベントまでは行っていない。今後は地域の広報誌などを参考にし、交流の機会を図っていく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	2	災害時の避難場所や保護者への連絡方法を定め、周知している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	虐待防止委員会を設置し、職員に活動内容報告や研修を実施している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2	3	身体拘束適正化委員会を設置し、職員に活動内容報告や研修を実施している。	身体拘束適正化委員会を通して、保護者説明と計画書への記載を検討していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 リトルグリーンバードよき教室

公表日 令和7年3月7日

利用児童数

9名

回収数

9

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	0	0	0		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	9	0	0	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	0	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9	0	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9	0	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9	0	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8	0	0	1		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8	0	0	1		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5	0	0	4		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	0	1	2		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	9	0	0	0	いつも丁寧にその日の様子を教えて頂け ますが連絡帳もあるので簡潔にして頂け ると助かります。	連絡帳を活用しながら、送迎時には簡潔 でわかりやすい申し送りができるよう努 めていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	0	0	1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	0	0	2		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	0	0	1		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9	0	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	0	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	0	0	1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	0	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	9	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	8	1	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	9	0	0	0		

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	リトルグリーンバードよぎ教室		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 22日 ～ 2025年 2月 21日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9 (回答者数)	9
○従業者評価実施期間	2025年 1月 22日 ～ 2025年 2月 26日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 26日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	教室内が広くソフトタイルの設置や、ボルダリング、トランポリン、なわとびといった運動用具が充実している。	・運動スペースを確保するために環境整備を行っている。 ・異なる遊びを十分に行うためのエリア分けを行っている。	運動用具の片づけはされているが、より取り出しやすい収納スペースを確保する。
2	活動プログラムの中で地域散策を行っている。	・児童の遊具遊びやボール遊びのニーズに合わせて近隣の公園を利用している。 ・商業施設へ買い物学習や施設見学に出向き、公共での振る舞いやルールを練習している。	・地域で開催されているイベント情報を保護者へ情報提供していく。 ・公共施設への外出を増やす。
3	未就学児の利用人数が多い	・保育士が2名在籍しており、保育専門学校の実習生の受け入れも行っている。 ・保育所や学校への授業訪問や保育参観を行い、教員や保護者との情報共有を行っている。	・実習生の受け入れを継続 ・授業訪問にて保育者や教員と情報共有を重ね、様々な視点から縦断的に支援を継続していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の中の他の子どもや大人との関りが少ない。	・地域散策にて公共の施設を経験することは多いが、地域の人と関わりをもつ機会が少ない。	近隣の保育園等に通う児童と関われるような企画を計画する。
2	教室が広い為に、児童にとって様々な情報が刺激となる。	お友だちの遊んでいる姿が見渡せる為、宿題をしている児童の集中が逸れることがある。	パーティションを用いて特性に応じた環境上の配慮を行う。
3	自宅への送迎サービスのニーズに十分にお応えできていない。	夕方の自宅送迎に対応できるスタッフが限られているため、保護者にお迎えをお願いしている場合がある。	夕方の送迎に対応可能なスタッフの確保が必要である。